



NEWS 夏のえほんまつりにきてくれてありがとう!

7/22~8/27のきかん中、おすすめえほんコーナーでビンゴなどたくさんのおともだちがさんかしてくれました。8月6日(日)3年ぶりの大きなおはなし会も61人ものおきゃくさまがきてくれました。  
『ゆうたはともだち』のペーパーサートや『ていなっこだましこ』やクルクル巻絵の『世界でいちばんきれいな声』などとても楽しい会になりました。12月とるゆいイベントあります!



特集 おはなしポケットのこと



わたしたちおはなしポケットはつるおが市立図書館の子どもたちにおはなしをとどけるボランティアグループです



こんなこともしています

その3 おでかけおはなし会  
地域の子ども育て各学校へおはなし会をとどけていきます

その2 キセツのおはなし会  
春・夏・冬、大きいおはなし会などパネルシアターペカサートなどやります

その1 館内おはなし会  
としまかん1かいおはなしコーナーで毎週おはなし会やっています

その5 研修例会など  
月に一度、メンバーがあつまって、絵本のこと勉強したり、打ちあわせします

その4 イベントじゅんび  
プレゼントつくり、キセツのイベントをいゆんびしたり、おすすめの本をえらんだり、クイズやエッセイを考えます

メンバーぼうし  
おはなし届けませんか? えほんのすきなひとよみまかせたいひとお気軽にお問い合せください  
市立図書館 成沢まで

館内おはなし会 1F

子ども室のえほんコーナーでやってます おきがるにどうぞ

おはすい おはなしすいほうび

おはちび おはなしちびめむ

おはどん おはなしどようび

毎週水ようび 4じ~4じ30ふん

第2日ようび 第4水ようび じせん11じ~11じ30ふん

毎週土ようび 3じ~3じ30ふん

えほんのよみまかせ など 第3水ようびはむかしがていのひ

0~1さいむけ てあそび、わらべうた えほんなど

えほんのよみまかせや紙いばいなどでおはなしとどけます

※おはなしかいにせんかするとカードにスタンプおします。たるとちやんとよいことあります。



図書館↑ QRコード



10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	休	2	3	4	5	6	1	休	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	7	休	8	9	10	11	12
14	15	16	17	18	19	20	13	休	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	休	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	休	26	27	28	29	30





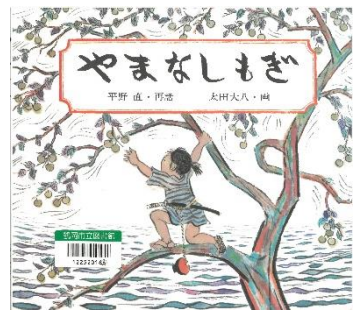
図書館には、施設見学で小学生や幼稚園の子どもたちが来ます。そんなときには、絵本を読んだり、お話をしたりするのですが、先日ある昔話を一日で、絵本で一回、素語りで二回させていただきました。その時のエピソードを紹介します。

その昔話は、「やまなしもぎ」というお話。読んだのは、『やまなしもぎ』（平野直再話、太田大八絵、福音館書店 1977年刊）という絵本です。

内容は、お母さんと三人の兄弟のお話で、病気のお母さんのために山に「やまなし」の実を取りに行くお話なのですが、昔話の定石どおり、一番目の太郎も二番目の次郎も、沼のほとりの「やまなし」の実を取ろうとするのですが、沼のぬしに見つかって「げろり」と飲み込まれてしまいます。そこで、三番目の三郎が登場します。三郎は途中で出会ったおばあさんの助言や「やまなし」の木が歌ってくれた歌のおかげで、実を取ることができ、沼のぬしも成敗して、兄弟も助けます。そして、三人で家に帰って母さんに「やまなし」の実を食べてさせると、病気もすっかり良くなって、めでたしめでたし。

あらすじにすると、こんな感じになってしまうのですが、聞いている子どもたちは、途中に出てくる笹の葉の鳴る音や、やまなしの木の歌の助けもあって、おはなしの世界に取り込まれて、真剣です。

太郎と次郎が次々に沼のぬしに「げろり」と飲み込まれてしまうと、隣のお母さんにくっついて目を伏せる子、じゅうたんに額をくっつけてしまっている子、高学年と思われる子は、頭を垂れて、聞いているのかいないのか・・・という混乱した状況で、おはなしは進んでいきます。そんな中、三郎が次々に困難を乗り越えていくと、額は床から離れ、子どもたちの伏せられていたたくさんの目が、こちらを見てくれるようになります。最後に、「それからはおやこ四人、たのしく暮らしましたとさ」とおはなしが終わると、会場にホッとした空気と、満足感が漂います。語り手も大満足。これが、昔話の力だなあ。と痛感する次第です。昔話の力を発揮させるには、どうも文字で読むよりも、耳から聞くのが良いようです。読んであげることで、ぜひ大人も一緒に楽しんでください。



「やまなしもぎ」  
平野直 再話  
太田大八 絵

福音館書店

# ポケットの穴 からこぼれた話



個人的なことですが、8月上旬に新型コロナウイルスに感染してしまいました。

夏のおはなし会に参加できなくなり、自分が担当する演目ができなくなりました。道具を作り直し、シナリオをおこし、何度も練習し、みんなで作り上げた演目でした。

当日は急遽代わりの方から演じていただき、楽しい時間を届けることができた聞きホッとしました。

新型コロナウイルスが5類扱いとなり、やっと大きなおはなし会ができるようになったというのに...。情けなくて、悔しくて...

でも、仲間から助けられました。グループで活動していて本当に良かったと思いました。みんな本当にありがとう！元気がなったら自分も誰かを助けたい！

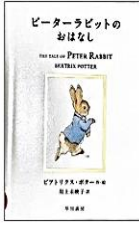
熱にうなされながら感謝の気持ちでいっぱいでした。

ウイルスの感染に限らず、生きていれば考えてもみなかったことが急に起こります。そんなアクシデントは大事なことに気づかせてくれるものだな～と思いました。



## 絵本作家

「ピーターラビットのおはなし」は、元家庭教師アニー・ムーアの息子ノエルに送ったウサギの話が元になっているという話は有名です。



『ピーターラビットのおはなし』  
ビアトリクス・ポター作・絵  
川上未映子訳 早川書房

2022年に川上未映子が翻訳したものが出版されました。新訳との違いを読みくらべるのも楽しいかもしれません

## ビアトリクス・ポター

イギリスの絵本作家

## キノコ研究者

## 農場経営者

2000エーカー（東京ドーム約174個分）以上の広さを持つ大農場トラウトバック・パークを購入し、ハードウィック種という羊を飼育し保護に努めていました。幼い頃にウィングミア湖で過ごした経験が、自然保護活動家になるきっかけでした。



『ビアトリクス・ポターの物語』  
リンゼイ・H・メトカーフ 西村書店

いいものこ訳  
福音館書店 1971年  
けれど、ピーターはたいへんないたずらっこだから、いちもくさんにマクレーガーさんのはたけにかけつけると、むりやり、きどのしたから、もぐりこみました。

川上未映子訳  
早川書房 2022年  
でもピーターは、とんでもない、いたずらっ子だったので、なんとマクレーガーおじさんの畑めがけてまっしぐら、そして木戸のしたから、むりやりもぐりこんだのです